

DRUG

INFORMATION



2011 No. 26

平成23年6月13日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について 1

(平成23年6月9日 薬事委員会結果報告)

- 採用医薬品（新規試用医薬品）—
- 採用中止医薬品—
- 製剤変更医薬品—
- 販売中止に伴う切替医薬品—

2. 新規採用医薬品情報 3

- 採用医薬品（新規試用医薬品）— 3
- 製剤変更医薬品— 6
- 販売中止に伴う切替医薬品— 7

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

医薬品の採用・中止・変更について ―平成 23 年 6 月 9 日 薬事委員会結果報告―

採用医薬品（新規試用医薬品）

医薬品名（成分名）	薬品分類
インヴェガ錠 3mg（パリペリドン）	抗精神病剤
ウリトス OD 錠 0.1mg（イミダフェナシン）	過活動膀胱治療剤
ケイキサレートドライシロップ 76%（ポリスチレンスルホン酸ナトリウム）	高カリウム血症改善剤
トピナ錠 25mg（トピラマート）	抗てんかん剤
トラマールカプセル 25mg（トラマドール塩酸塩）	がん疼痛治療剤
ネクサバール錠 200mg（ソラフェニブチル酸塩）	抗悪性腫瘍剤
フェブリク錠 20mg（フェブキソスタット）	高尿酸血症治療剤
ブラザキサカプセル 75mg（ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩）	直接トロンビン阻害剤
ブラザキサカプセル 110mg（ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩）	直接トロンビン阻害剤
オルベスコ 100μg インヘラー-112 吸入用（シクレソニド）	吸入ステロイド喘息治療剤
サイビスクディスポ関節注 2mL（ヒアルロン酸ナトリウム）	変形性膝関節症治療剤
パクリタキセル点滴静注液 30mg「サンド」（パクリタキセル）	抗悪性腫瘍剤
パクリタキセル点滴静注液 100mg「サンド」（パクリタキセル）	抗悪性腫瘍剤

平成 23 年 6 月 21 日より処方開始予定です。

採用中止医薬品

医薬品名（成分名）	薬品分類
アスペノンカプセル 20mg（アプリンジン塩酸塩）	不整脈治療剤
サラゾピリン錠 500mg（サラゾスルファピリジン）	潰瘍性大腸炎治療剤
デパケン錠 100mg（バルプロ酸ナトリウム）	抗てんかん剤
マイテラーゼ錠 10mg（アンベノニウム塩化物）	重症筋無力症治療剤
イミグラン点鼻液 20mg（スマトリプタン）	片頭痛治療剤
パンドル軟膏 0.1%（ヒドロコルチゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル）	副腎皮質ホルモン剤
複方ヨード・グリセリン FM（ヨウ素、グリセリン、液状フェノール）	殺菌消毒剤
アンナカ注「フソー」-20%（安息香酸ナトリウムカフェイン）	中枢興奮・鎮痛剤
イントロン A 注射用 300 万国際単位（インターフェロン α-2b）	インターフェロン製剤
ソリタ T3 号 G 輸液 500mL	電解質製剤
タガメット注射液 200mg（シメチジン）	H ₂ 受容体拮抗剤

院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ウリス錠 0.1mg ⇒ ウリス OD 錠 0.1mg	過活動膀胱治療剤
ベシケア錠 2.5mg ⇒ ベシケア OD 錠 2.5mg	過活動膀胱治療剤
パクリタキセル注 30mg/5mL「NK」⇒ パクリタキセル点滴静注液 30mg「サント」	抗悪性腫瘍剤
プログラフ注射液 5mg ⇒ プログラフ注射液 2mg	免疫抑制剤

旧製剤がなくなり次第、製剤変更とします。

販売中止に伴う切替医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
メルビン錠 250mg ⇒ メトグルコ錠 250mg	経口血糖降下剤
ラコール配合経腸用液 ⇒ ラコール NF 配合経腸用液	経腸栄養剤

旧製剤がなくなり次第、切替とします。

【採用医薬品(新規試用医薬品)】

*パリペリドン Paliperidone

【商】インヴェガ Invega ヤンセン
内用：錠剤(徐放性)Ⓐ 1錠中 3mg [246.2 円/錠]

【効】統合失調症

【用】6mg を 1 日 1 回朝食後に投与する。1 日 12mg を超えない範囲とするが、増量は 5 日間以上の間隔をあけて 1 日量として 3mg ずつ行うこと。

【禁】昏睡状態の患者、バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者、アドレナリンを投与中の患者、本剤の成分及びリスペリドンに対し過敏症の既往歴のある患者、中等度から重度の腎機能障害患者(クレアチニン・クリアランス 50mL/分未満)

【副】悪性症候群、遅発性ジスキネジア、肝機能障害、黄疸、横紋筋融解症、不整脈、脳血管障害、高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、低血糖、無顆粒球症、白血球減少、肺塞栓症、深部静脈血栓症、麻痺性イレウス★、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群★

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

*イミダフェナシン Imidafenacin

【商】ウリトス OD Uritos OD 杏林
内用：錠剤(口腔内崩壊錠)

1 錠中 0.1mg [96.5 円/錠]

【効】過活動膀胱における尿意切迫感・頻尿及び切迫性尿失禁

【用】1 回 0.1mg を 1 日 2 回、朝食後及び夕食後に投与する。効果不十分な場合は、1 回 0.2mg、1 日 0.4mg まで増量できる。

【禁】尿閉を有する患者、幽門・十二指腸又は腸管が閉塞している患者及び麻痺性イレウスのある患者、消化管運動・緊張が低下している患者、閉塞隅角緑内障の患者、重症筋無力症の患者、重篤な心疾患の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】急性緑内障、尿閉、麻痺性イレウス★、幻

覚・せん妄★、QT 延長★、心室性頻拍★

【妊】未確立、原則禁忌

【授】原則禁忌、投与する場合は授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

*ポリスチレンスルホン酸ナトリウム

Sodium Polystyrene Sulfonate

【商】ケイキサレート Kayexalate 鳥居
内用：ドライシロップ剤

1g 中 764.5mg [20 円/g]

【効】急性及び慢性腎不全による高カリウム血症

【用】1 日 30g を 2～3 回に分け、その 1 回量を水 50～150mL に懸濁し投与する。

【副】心不全誘発、腸穿孔、腸潰瘍、腸壊死

【妊】未確立

*トピラマート Topiramate

【商】トピナ Topina 協和発酵キリン
内用：錠剤 1 錠中 25mg [62.9 円/錠]

【効】他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法

【用】1 回量 50mg を 1 日 1 回又は 1 日 2 回の投与で開始する。1 週間以上の間隔をあけて漸増し、維持量として 1 日量 200～400mg を 2 回に分割投与する。1 日最高投与量は 600mg までとする。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】続発性閉塞隅角緑内障及びそれに伴う急性近視、腎・尿路結石、代謝性アシドーシス、乏汗症及びそれに伴う高熱

【妊】有益のみ

【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

*トラマドール塩酸塩 Tramadol Hydrochloride

【商】トラマル Tramal 日本新薬
内用：カプセル剤Ⓐ

1 カプセル中 25mg [37.7 円/Cp]

【効】軽度から中等度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】1日100～300mgを4回に分割投与する。
1回100mg、1日400mgを超えないこととする。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、アルコール・睡眠剤・鎮痛剤・オピオイド鎮痛剤又は向精神薬による急性中毒患者、MAO阻害剤を投与中の患者又は投与中止後14日以内の患者、治療により十分な管理がされていないてんかん患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、痙攣、依存性

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【小】未確立

＊ソラフェニブトシル酸塩 Sorafenib Tosilate

【商】ネクサバール Nexavar バイエル
内用：錠剤[㊟] 1錠中200mg [5,426.2円/錠]

【効】根治切除不能又は転移性の腎細胞癌、切除不能な肝細胞癌

【用】1回400mgを1日2回投与する。

【警】本剤は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に本剤の有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。

【禁】本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある女性

【副】手足症候群、剥脱性皮膚炎、Stevens-Johnson症候群、多形紅斑、出血(消化管出血、気道出血、脳出血、口腔内出血、鼻出血、爪床出血、血腫、腫瘍出血)、劇症肝炎、肝機能障害・黄疸、肝不全、肝性脳症、急性肺障害、間質性肺炎、高血圧クレーゼ、可逆性後白質脳症、心筋虚血・心筋梗塞、うっ血性心不全、消化管穿孔、消化管潰瘍、出血性腸炎、虚血性腸炎、白血球減少、好中球減少、リンパ球減少、血小板減少、貧血、脾炎、腎不全、ショック、アナフィラキシー様症状、横紋筋融解症

【妊】禁忌

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊フェブキシソスタット Febuxostat

【商】フェブリク Feburic 帝人
内用：錠剤 1錠中20mg [56.4円/錠]

【効】痛風、高尿酸血症

【用】1日10mgより開始し、1日1回投与する。
維持量は1日1回40mgで、最大投与量は1日1回60mgとする。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、メルカプトプリン水和物又はアザチオプリンを投与中の患者

【副】肝機能障害、過敏症

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩
Dabigatran Etxilate Methanesulfonate

【商】プラザキサ Prazaxa ベーリンガー
内用：カプセル剤

1カプセル中75mg [132.6円/Cp]

110mg [232.7円/Cp]

【効】非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制

【用】1回150mgを1日2回投与する。なお、必要に応じて、1回110mgを1日2回投与へ減量すること。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、透析患者を含む高度の腎障害(クレアチニンクリアランス30mL/min未満)のある患者、出血症状のある患者、出血性素因のある患者及び止血障害のある患者、臨床的に問題となる出血リスクのある器質的病変(6ヶ月以内の出血性脳卒中を含む)の患者、脊椎・硬膜外カテーテルを留置している患者及び抜去後1時間以内の患者、イトラコナゾール(経口剤)を投与中の患者

【副】出血

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊シクレソニド Ciclesonide

【商】オルベスコ Alvesco 帝人
外用：吸入剤

100μg：1缶(6.6g)中11.2mg [2,265.6円/缶]

【効】気管支喘息

【用】〔成人〕100～400 μ g を1日1回吸入投与する。1日の最大投与量は800 μ gとする。1日に800 μ gを投与する場合は、朝、夜の1日2回に分けて投与する。〔小児〕100～200 μ g を1日1回吸入投与する。良好に症状がコントロールされている場合は50 μ g、1日1回まで減量できる。

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・深在性真菌症の患者、本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者、結核性疾患の患者[#]

【妊】有益のみ 【授】原則授乳回避

【小】長期・大量投与注意

【低・新・乳・幼】4歳以下：未確立

【商】サイビスクディスポ Synvisc 帝人
注射：液剤

1 筒(2mL)中ヒアルロン酸ナトリウム架橋処理ポリマー14.4mg、ヒアルロン酸ナトリウム架橋処理ポリマービニルスルホン架橋体 1.6mg

[9,648 円/筒]

【効】保存的非薬物治療及び経口薬物治療が十分奏効しない疼痛を有する変形性膝関節症の患者の疼痛緩和

【用】1 回 2mL を1週間ごとに連続3回、膝関節腔内に投与する。

【禁】本剤の成分又はヒアルロン酸ナトリウム・鳥類の蛋白質・羽毛・卵に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【小】未確立

*パクリタキセル Paclitaxel

【商】パクリタキセル サンド
注射：液剤[㊞] 1 瓶(5mL)中 30mg
1 瓶(16.7mL)中 100mg

【効】①卵巣癌、非小細胞肺癌、胃癌、子宮体癌 ②乳癌

【用】①A 法 ②A 法又は B 法

〈A 法〉1 日 1 回 210mg/m²を3時間かけて点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。

〈B 法〉1 日 1 回 100mg/m²を1時間かけて点滴静注し、週1回投与を6週連続し、少なくとも2週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。

【警】◆本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。◆本剤の骨髄抑制に起因したと考えられる死亡例(敗血症、脳出血)あるいは高度の過敏反応に起因したと考えられる死亡例が認められている。骨髄抑制等の重篤な副作用が起こることがあるので、頻回に臨床検査(血液検査、肝機能検査、腎機能検査等)を行う等、患者の状態を十分に観察すること。本剤による重篤な過敏症状の発現を防止するため、本剤投与前に必ず前投薬を行うこと。また、前投薬を実施した患者においても死亡例が報告されているので、患者の状態に十分に注意し、重篤な過敏症状が発現した場合は、本剤の投与を直ちに中止し、適切な処置を行うこと。なお、重篤な過敏症状が発現した症例には、本剤を再投与しないこと。「禁忌」、「慎重投与」の項を参照して適応患者の選択に十分注意すること。本剤使用にあたっては、添付文書を熟読のこと。

【禁】重篤な骨髄抑制のある患者、感染症を合併している患者、本剤又はポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤(シクロスポリン注射液等)に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、次の薬剤を投与中の患者〔ジスルフィラム、シアナミド、カルモフル、プロカルバジン塩酸塩〕

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、骨髄抑制、末梢神経障害、麻痺、間質性肺炎、肺線維症、急性呼吸窮迫症候群、心筋梗塞、うっ血性心不全、心伝導障害、肺塞栓、血栓性静脈炎、脳卒中、肺水腫、難聴、耳鳴、消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍、重篤な腸炎(出血性大腸炎、偽膜性大腸炎、虚血性大腸炎等)、腸管閉塞、腸管麻痺、肝機能障害、黄疸、脾炎、急性腎不全、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、DIC

【妊】禁忌

【授】授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

【製剤変更医薬品】

ウリトス OD 錠 ⇒ 採用医薬品の部参照

＊ソリフェナシンコハク酸塩

Solifenacin Succinate

【商】ベシケア OD Vesicare OD アステラス
内用：錠剤(口腔内崩壊錠) 1錠中 2.5mg

[113 円/錠]

【効】過活動膀胱における尿意切迫感・頻尿及び切迫性尿失禁

【用】5mg を 1 日 1 回投与する。1 日最高投与量は 10mg までとする。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、尿閉を有する患者、閉塞隅角緑内障の患者、幽門部・十二指腸又は腸管が閉塞している患者及び麻痺性イレウスのある患者、胃アトニー又は腸アトニーのある患者、重症筋無力症の患者、重篤な心疾患の患者、重度の肝機能障害患者(Child-Pugh 分類 C)

【副】肝機能障害、尿閉、QT 延長、心室頻拍、房室ブロック、洞不全症候群、高度徐脈、急性緑内障発作★麻痺性イレウス★幻覚・せん妄★

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

パクリタキセル点滴静注液「サンド」

⇒ 採用医薬品の部参照

＊タクロリムス水和物 Tacrolimus Hydrate

【商】プログラフ Prograf アステラス
注射：液剤(罎) 1 管(0.4mL)中 2mg [2,903 円/管]

【効】①下記の臓器移植における拒絶反応の抑制：(1)腎移植、(2)肝移植、(3)心移植、(4)肺移植、(5)脾移植 ②骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制

【用】①(1)(2)(5)1 回 0.10mg/kg を生理食塩液又はブドウ糖注射液で希釈して 24 時間かけて点滴静注する。内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。①(3)(4)1 回 0.05mg/kg を生理食塩液又はブドウ糖注射液で希釈して 24 時間かけて点滴静注する。内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。②移植 1 日前より 1 回 0.03mg/kg を生理

食塩液又はブドウ糖注射液で希釈して 24 時間かけて点滴静注する。移植片対宿主病発現後に投与を開始する場合には、1 回 0.10mg/kg を生理食塩液又はブドウ糖注射液で希釈して 24 時間かけて点滴静注する。内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。

【警】◆本剤の投与において、重篤な副作用(腎不全、心不全、感染症、全身痙攣、意識障害、脳梗塞、血栓性微小血管障害、汎血球減少症等)により、致死的な経過をたどることがあるので、緊急時に十分に措置できる医療施設及び本剤についての十分な知識と経験を有する医師が使用すること。◆臓器移植における本剤の投与は、免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師又はその指導のもとで行うこと。

【禁】本剤の成分(ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油を含む)に対し過敏症の既往歴のある患者、シクロスポリン又はボセンタン投与中の患者、カリウム保持性利尿剤投与中の患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【副】ショック、急性腎不全、ネフローゼ症候群、心不全、不整脈、心筋梗塞、狭心症、心膜液貯留、心筋障害、中枢神経系障害(可逆性後白質脳症症候群、高血圧性脳症等)、脳血管障害、血栓性微小血管障害、汎血球減少症、血小板減少性紫斑病、赤芽球癆、イレウス、Stevens-Johnson 症候群、呼吸困難、感染症、進行性多巣性白質脳症、BK ウイルス腎症、悪性腫瘍(リンパ腫等)、膵炎、糖尿病、高血糖

【妊】禁忌

【授】授乳回避

【低・新・乳・幼】①(1)・②未確立

【小】①(3)(4)(5)未確立

【貯】遮光

【販売中止に伴う切替医薬品】

＊メトホルミン塩酸塩 Metformin Hydrochloride

【商】メトグルコ Metgluco 大日本住友
内用：錠剤(丸) 1錠中 250mg [9.9 円/錠]

【効】2 型糖尿病(ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る)：食事療法・運動療法のみ、食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用

【用】1 日 500mg より開始し、1 日 2～3 回に分割して食直前又は食後に投与する。維持量は 1 日 750～1,500mg とする。1 日最高投与量は 2,250mg までとする。

【警】◆重篤な乳酸アシドーシスを起こすことがある。乳酸アシドーシスを起こしやすい患者には投与しないこと。◆腎機能障害又は肝機能障害のある患者、高齢者に投与する場合には、定期的に腎機能や肝機能を確認するなど慎重に投与すること。

【禁】次に示す状態の患者〔乳酸アシドーシスの既往、中等度以上の腎機能障害、透析患者(腹膜透析を含む)、重度の肝機能障害、ショック・心不全・心筋梗塞・肺塞栓等心血管系・肺機能に高度の障害のある患者及びその他の低酸素血症を伴いやすい状態、過度のアルコール摂取者、脱水症・脱水状態が懸念される下痢・嘔吐等の胃腸障害のある患者〕、重症ケトーシス・糖尿病性昏睡又は前昏睡・1 型糖尿病の患者、重症感染症・手術前後・重篤な外傷のある患者、栄養不良状態・飢餓状態・衰弱状態・脳下垂体機能不全又は副腎機能不全の患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、本剤の成分又はビグアナイド系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】乳酸アシドーシス、低血糖、肝機能障害、黄疸

【妊】禁忌

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

【商】ラコール NF Racol NF

大塚工場

内用：液剤 1 袋 200mL (200kcal) 中乳カゼイン 6.8g、分離大豆蛋白質 3.332g、トリカプリリン 1.5g、ダイズ油 1.398g、シソ油 0.36g、パーム油 0.668g、マルトデキストリン 29.716g、精製白糖 2.6g、クエン酸ナトリウム水和物 414mg、炭酸カリウム 395.4mg、塩化マグネシウム 311mg、塩化カルシウム水和物 235.2mg、クエン酸三カリウム 102.54mg、クエン酸カルシウム 79.06mg、リン酸二水素カリウム 19.288mg、塩化カリウム 12.06mg、グルコン酸第一鉄 6.576mg、硫酸亜鉛 3.868mg、硫酸マンガン 984.2μg、硫酸銅 786.2μg、ビタミン A 油(1g 中 20 万 IU 含有) 2.07mg、コレカルシフェロール 0.68μg、トコフェロール酢酸エステル 1,300μg、フィトナジオン 12.5μg、チアミン塩化物塩酸塩 966μg、リボフラビンリン酸エステルナトリウム 622.8μg、ピリドキシン塩酸塩 911.8μg、シアノコバラミン 0.64μg、アスコルビン酸ナトリウム 63.2mg、ニコチン酸アミド 5mg、パントテン酸カルシウム 2.082mg、葉酸 75μg、ビオチン 7.72μg [0.91 円/mL]

【効】手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

【用】1 日 1,200～2,000mL (1,200～2,000kcal) を経鼻チューブ、胃瘻又は腸瘻より胃、十二指腸又は空腸に 1 日 12～24 時間かけて投与する。投与速度は 75～125mL/時とする。経口摂取可能な場合は 1 日 1 回又は数回に分け投与することもできる。投与開始時は、1 日 400mL (400kcal) を水で希釈 (0.5kcal/mL 程度) して、低速度 (約 100mL/時以下) で投与し、臨床症状に注意しながら増量して 3～7 日で標準量に達するようにする。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、牛乳蛋白アレルギーを有する患者、イレウスのある患者、腸管の機能が残存していない患者、高度の肝・腎障害のある患者、重症糖尿病等の糖代謝異常のある患者、先天性アミノ酸代謝異常の患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状

【妊】3 ヶ月以内：注意

【低・新】未確立